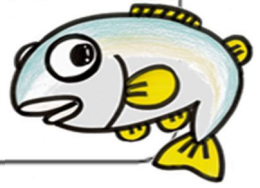




第2回学校運営協議会

学校教育目標「夢に向かい 共に学び 行動する子」



令和5年7月6日(木) 13:30~15:30

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 授業参観
- 4 議長の選出（出席した議員の中から互選）
- 5 前回の会議録確認（CS ディレクター）
- 6 熟議
 - (1) 学校支援と学習支援について
 - (2) その他
- 7 連絡
 - ・ 次回開催日
11月17日(金) 13:30~15:30
 - ・ 熟議内容

令和5年度 第1回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 5月 11日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 会議室
- 3 出席委員 出野 光雄、野澤 講一、大石 欽也、坪井 道男、新井 恵美子、大柴 智恵、
内山 達也、大石 敏也、市川 紀史、武田 あゆみ
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 大石 浩史（校長）、藤岡 政哉（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、野澤会長から内山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 前回の会議録、令和4年度協議会自己評価の確認
- (2) 学校運営の基本方針について概要説明
- (3) 授業参観の感想
- (4) いじめ防止基本方針について
- (5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (6) 学校支援について

11 会議記録

司会の藤岡教頭から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 前回の会議録、令和4年度協議会自己評価の確認

議長の指示により、CSディレクターから、別紙資料に基づき第4回下阿多古小学校運営協議会会議録について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

- (2) 学校運営の基本方針について概要説明

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和5年度学校運営基本方針について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

- (3) 授業参観の感想

議長から、協議会前に行った授業参観について委員に感想を求めたところ、以下の発言があった。

- ・ 孫が一人在籍しており、授業の様子を見ることができた。元気に授業をうけているようで安心した。これから地域の皆様にはお世話になると思うが、家族の見守りや地域のつながりを大切にしていきたいと思う。（出野委員）

- ・ 算数の授業を見ていて、自分たちが教えてもらったこととはだいぶ違った。勉強の仕方が変わったのだとつくづく思う。(坪井委員)
- ・ 少人数ならではの授業が出来ており、一人一人に手が行き届いてハイレベルな授業がなされていると思った。(新井委員)
- ・ 子供たちが明るく、姿勢も良く自信を持っているように見えた。間違えても子供たち同士批判することもなく、学び合う雰囲気の中で授業が出来ていると思う。今後の成長が楽しみである。(市川委員)
- ・ 子供たちみんなが授業をはりきって受けているように見えた。学校の有り様や授業の仕方が変わっていく中で、下阿多古小は指導が行き届いて恵まれていると感じた。(大業委員)
- ・ 授業態度を見て、幼小一貫校のような流れで教育がつながっていると感じた。1年生から6年生まで通して、どの学年でも考える力を育成するための授業がなされていると思った。(大石敏也委員)
- ・ 毎回のことであるが、先生方の黒板の字がいつもきれいだと感心してしまう。学校生活の中で先生方から反復して教えていただくことで、継続した学びとなり、人として養われていくのだと思う。(武田委員)
- ・ 自分で考えさせるという授業を行っていて、先生方が誰一人取り残さない気持ちを察することができた。子供たちも楽しく授業を受けており安心した。(大石副会長)
- ・ 1年生はにこやかで自由に授業を受けており挙手がしっかりできている。3・4年生の授業は賑やかであり、子供たちが積極的に参加している感じがした。5・6年生の授業は今回合同授業で図工を行っていたが、人数的には多いように思えるが有効であると思った。2年生の授業では昔と違う教え方に感動した。そんな授業を行う下阿多古小学校の先生方は立派であり、先生方をリードしていく校長先生もすばらしいと思った。(野澤会長)
- ・ まだ入学して2ヶ月しかたない1年生が全員まっすぐ手を挙げている光景を見て、すばらしいと思った。また、3・4年生の複式学級の授業風景を見て、担任している先生は非常に大変だなあと感じた。先生方のご苦労もいかにばかりかと推察する。(内山委員)

(4) いじめ防止基本方針について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 孫の友達の名前について、子供たちの間で変に指摘されたようである。いじめではないにしても、大事な名前であることをわからせる解決策はないであろうか。(出野委員)
 - ・ 今後、学校と家庭での情報交換を行い、早期に対応して欲しいと思う。(内山委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(6) 学校支援について

議長の指示により、野澤会長と学校支援コーディネーターの武田委員から、別紙資料に基づき学校支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ あゆっ子応援団募集について、自分の目標としては登録者を5人と決めている。近々に行動を起こしたいと思う。(内山委員)
- ・ 応募用紙を小学校のPTA役員に渡すようにしたらどうか。(出野委員)
- ・ 募集用紙を書いても、誰が役員かも、誰に渡したらよいのかもわからない。(大石副会長)
- ・ ここに出席の委員の皆さんも、この場にてスマホで、応募用紙についているQRコードから登録してもらいたい。(野澤会長)
- ・ 人を増やすことは大変難しい。登録だけでもしてもらうことが大事である。まめに声を掛けることが重要で、高齢の方で元気で家にいる方や子供が大きくなって手が空いている方などをお願いしてみる、ということしか出来ないと思う。(内山委員)
- ・ 直に話してみないとやっている活動を知らない。まだ1年では浸透しない。少しずつアピールして広げていくことが大事だと思う。(大石副会長)
- ・ 5月27日土曜日に体育振興会の総会があり、田植えに向けての草刈りを提案してみようと思う。予定としては6月3日土曜日に行いたい。(内山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年7月6日(木)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。また、幼小合同運動会を5月27日(土)に開催し、多数観覧の申し入れがあった。

令和5年度 下阿多古小学校グランドデザイン

- ◆国の施策
 - ・「生きる力」の育成 ・社会に開かれた教育課程
- ◆はままつ教育
 - ・自分らしさを大切にする子供
 - ・夢と希望を持ち続ける子供
 - ・これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- ◆清竜中学校校区
 - 自分の良さに気づき、他者との関わりを大切にし、夢に向かって努力する子

- ◆校区の実態
 - 阿多古川を中心とした豊かな自然に恵まれている。
 - 温かな地域との関わりを通して、学校や子供たちは、見守られ、支えられている。
- ◆児童の実態
 - 明るく素直で学年関係なく接する。
 - 真面目でやるべきことを確実にやり遂げようとする。
 - ▲自分で判断し行動したり、粘り強く取り組んだりする。
 - ▲友達とのより良い関係づくり、関わり方

校訓
「強く 正しく 朗らかに」

目指す子供の姿
ふるさとを愛する子

学校教育目標 夢に向かい 共に学び 行動する子

教育目標具現のための3つの柱(キャリア教育の推進)

将来設計・選択の力
(未来のわたし)

他者に働き掛ける力・
コミュニケーション力
(大切な仲間)

計画・立案・実行・評価の力
(計画と実行)

< 確かな学力 >

- 「自分の考えをもち進んで伝え合う子の育成」を目指した研修
 - ・主体的・対話的で深い学び ・個別最適な学びと協働的な学び
- ICT機器の活用促進と情報活用能力の育成 (情報活用の実践力・情報モラル)
- 地域の人材や環境を活用した教育活動の推進 (「地域で」「地域を」「地域から」学ぶ)

< 豊かな心 >

- 「今、何をすべきか」を考え、行動する子を育む機会や場の設定
 - ・ 気づいて行動 ・ ソーシャルスキル ・ 動と静の切り替え ・ 聴く姿勢
- 多様性にふれ、他者を尊重し、自分の可能性を広げる場の設定(異学年交流、連合教育)
- 自分から進んで行う気持ちのよいあいさつの励行
- 自分のよさを知り、なりたい自分を思い描く場の設定
- なりたい自分になるために、考え実行する姿への支援

祝150周年



< 強い心と健やかな体 >

- 個に応じた自力解決と挑戦の場の設定及び、個に寄り添った支援
 - ・ 「分かった」「できた」の積み上げ ・ 「分からない」と言える
- 体力や技能の向上に向け、めあてを持って運動に取り組むことができる場の工夫
- 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会の設定

安定した学校経営の基盤

- ◆ 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり (温かくてやさしく、ほのぼのとした学級・学校)
- ◆ 保護者や地域から信頼される学校の推進 (学校だより、ブログ、教育相談体制、コミュニティスクール)
- ◆ 家庭との連携による学習・生活習慣の確立 (家庭学習の手引き、保健だより「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発)
- ◆ 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の見直し (施設・設備の管理、危機管理マニュアル)
- ◆ 教職員の資質向上と心身の健康増進の両立 (学び続ける教師 実効性のある働き方改革)

「また明日。」と、みんなが思える学校 ~ ウェルビーイングの実現 ~

【第2回学校運営協議会】

2023/07/06

コミュニティ・スクール

- コミュニティ・スクールの役割について
- 2022年事業内容報告
- 2023年9月以降の事業予定
- ICT教育について支援できること

■子供たちの資質能力向上のため

地域の方と一緒に活動を体験していく中で、地域の方にも一緒に子供たちを育てていただき大人とのふれあいを通して、見守られている安心感、そして感謝の気持ちが芽生えふるさとを愛する子へと繋がっていき、子供たちへの資質能力向上となる

■職員の資質能力向上のため

地域の方や外部の方が、講師を担当していただくことで職員では補えない専門性の必要な分野の知識を提供していただき、職員もより深い学びができ資質能力向上へと繋がっていく



学校



コミュニティ・スクール

【コミュニティ・スクールの役割】

何のために、誰のためにあるのか？

学校とコミュニティ・スクールが協働し
「子供たちのために」さらなる支援を導き出していく

2022年-2023年

資質能力向上の
ための活動！！

2022年

学校行事・支援事業の洗い出し

- 委員が自ら参加することで支援が必要な事業を探る
- 1つのツール（道具）として「あゆっ子応援団」を立ち上げた

ボランティアとして学校行事に参加していただくことで、まずは学校を知っていただき、子供たちの教育へと携わっていただく

2023年（課題）

各立場で、子供たち・職員への資質能力向上のために何ができるのか？
ICT教育に焦点をあてて意見を出し合っていきましょう！！

■ 【ICT教育事例 浜松市内】

- ・オンライン授業
企業や外部講師とオンラインで繋ぎ、見学に行かなくても学ぶことが可能
- ・タブレット授業講師を大学生が担当（浜松学院大学）
- ・クラブ活動
タブレットクラブ講師を大学生が担当（静岡大学）

地域の方のご協力に加え、大学生との連携を取りながら進めている

事業内容	担当者・講師
■あゆっ米プロジェクト ・育苗（種まき） 田植え すがい作り 稲刈り 脱穀 もみすり 精米	青葉会・市川敏夫さん
■クラブ活動 ・グラウンドゴルフ 竹細工	青葉会・池上正巳さん
■その他 ・桃狩り 梨狩り ・稚アユの放流 ・ホットメール作戦（年賀状） ・合唱指導 ピアノ伴奏 ・下阿多古の歴史 ・そろばん指導 ・昔の遊び ・大型紙芝居 ・読み聞かせ ・点字 アイマスク体験 ・盲導犬学校キャラバン	鈴木堆保さん 阿多古川漁業組合 地区社会福祉協議会 野澤須美子さん 岡田あすかさん 大石欽也さん 全国珠算教育連盟 青葉会 天竜お話の会 下阿多古母親クラブ 地区社会福祉協議会 日本盲導犬協会

薬学講座 移動環境教室 バーチャルUD講座 こども音楽鑑賞教室 ボート体験 校外学習 ストレスマネジメント講座
 ストーリーテリング 下水道教室 杉の子の日 交通安全リーダーと語る会 観劇教室 四小連合同授業

令和5年度 コミュニティ・スクール年間予定表

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	
9月				(グランドゴルフ) 青葉会さん	クラブ活動 (竹細工) 「竹の家」の皆さん	(工作)		
		なし狩り 鈴木堆保さん				すがい作り 青葉会さん		
10月			(阿多古の昔の話) 大石欽也さん他	(阿多古川の話)		はざ作り		
	稲刈り 青葉会さん ・ P T Aの皆さん							稲刈り前 草刈り
			工場見学	(グランドゴルフ) 青葉会さん	クラブ活動 (竹細工) 「竹の家」の皆さん	(工作)		
11月	清掃工場見学							
					脱穀・もみすり 市川さん			
12月	持久走記録会 ・ ホットメール作戦							
1月	昔のあそび体験 青葉会さん							
2月	あゆっ子いきいき発表会							
3月								